

For Corneometer[®], Mexameter[®], Skin-Colorimeter, Frictiometer, Indentometer, Skin-Thermometer and the respective wireless versions

Step 1: プラスティック皿に綿を置きます。

Step 2: エタノール（76%）で綿を湿らせます。



Step 3: プロブを湿った消毒綿に押し付け、約 10 秒間押し続けます。10 秒後、プロブを外します。



Step 4: さらに 30 秒待ちます。次に、乾燥した綿棒を使用して、測定面を完全に乾燥させます。液体がプローブの電子機器に入るのを防ぐために、乾燥する前にプローブの測定面を上に向けないでください。

For Cutometer®



Step 1: エタノール（76%）をプラスチック皿に直接入れます。

Step 2: プロブ測定面を直接消毒液の入った皿に置き、約 30 秒間そのままにします。

Step 3: 乾いた綿を使用して、プロブ測定面を完全に乾燥させます。液体がプロブの電子機器に入るのを防ぐために、乾燥する前に測定面を上に向けたままプロブを持たないでください。

Step 4: 重要: 次に、Cutometer®専用洗浄液またはイソプロパノールとブラシで定期的な洗浄を行います。測定に再び使用する前に、プロブが完全に乾燥していることを確認してください。



For Skin-pH-Meter (and Skin-pH-Meter WL)

Step 1: エタノール（76%）をプラスチック皿に直接入れます。

Step 2: プロブ測定面を直接消毒液の入った皿に置き、約 30 秒間そのままにします。

Step 3: 乾いた綿でポンポンと叩くように拭いてください。

Step 4: プローブを KCL 液の中に 1 分以上浸けます。

Step 5: 次の測定時には、いつものようにプローブを蒸留水ですすぎます。



Note:

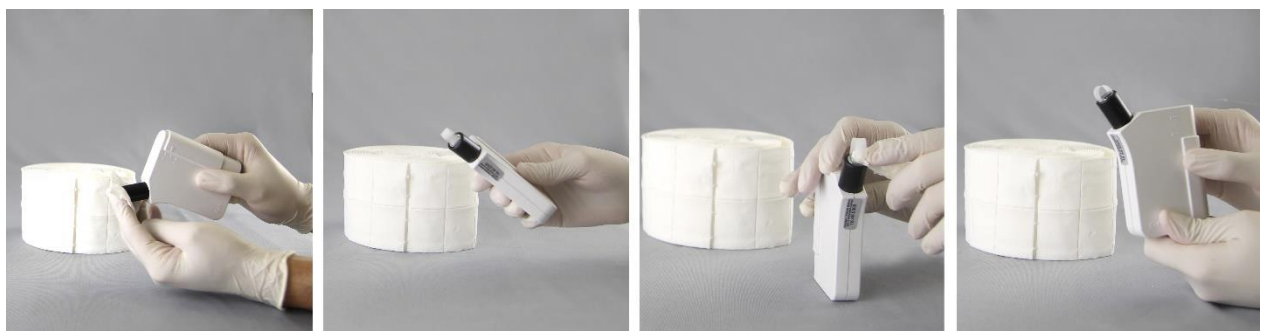
- 測定膜にアルコールを使用すると、ガラス電極の寿命が短くなる場合があります。
- ガラス電極に負担をかけるので、緩衝液で定期的に再校正してください（少なくとも週に 1 回）。

For the Sebumeter® cartridge:

Step 1: 測定終了後、肌に触れていた部分を、消毒液を付けた綿で拭き取ります。

Step 2: テープを少し持ち上げて、消毒綿で下のミラーを掃除します。

Step 3: 約 30 秒後、テープを前に巻き、テープの未使用部分を新しくします。



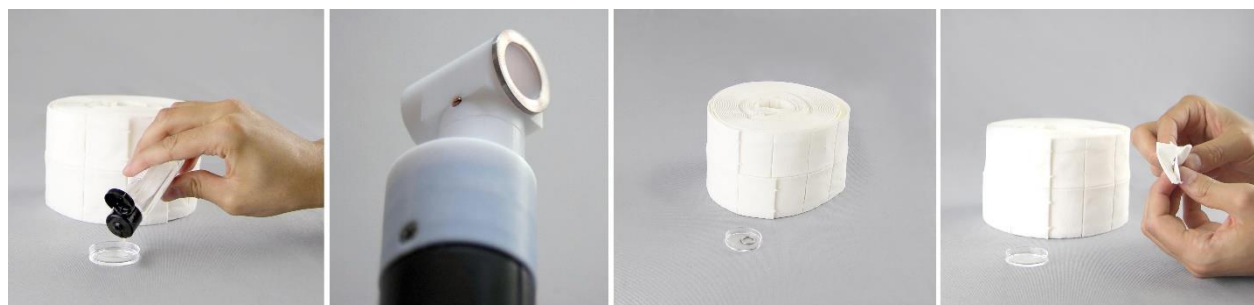
エタノール（76%）で湿らせた綿を使用して、カートリッジの外側とデバイスのチューブ内のライトダイオードをクリーニングすることもできます。再度使用する前に、チューブの内側を乾いた綿で拭いて乾かしてください。

For Tewameter® TM 300

プローブの内部（特にセンサー）がエタノール（76%）と接触しないようにしてください

- プローブヘッドに取り付けることができる特殊なステンレス製アダプターリング（オプションのアクセサリ）を使用します。
- 測定後、で取り外して洗浄したり、滅菌することもできます。

プローブヘッドに再度取り付ける前に、完全に乾いていることを確認してください



For Visioscan®

Step 1: カメラヘッドを取り外します。

Step 2: エタノール（76%）で湿らせた綿で完全に拭き取ります。カメラヘッドは殺菌することもできます。

Step 3: その後、綿で拭いて乾かしてから、カメラに再度取り付けます。



Cleaning of probe/camera housings and cables:

エタノール（76%）で湿らせた綿でプローブハウジングとケーブルを拭きます。必要に応じて、後で別の消毒綿で乾かします。



Cleaning of other housings:

エタノール（76%）で湿らせた綿でハウジングとケーブル（USB、電源ケーブル）を拭きます。必要に応じて、残った液を乾いた綿で拭き取ります。



【お問合せ】

株式会社インテグラル

東京都品川区上大崎 2-25-2

TEL:03-6417-0810 FAX:03-6417-0853

<https://www.integralcorp.jp/>